

地域研修報告

住友病院 青木仁美

住友病院初期研修医二年目の青木仁美と申します。令和三年の八月と十一月に地域医療研修として中村診療所、センプククリニック、大原クリニック、さがべ診療所、さかいクリニック、四ツ橋診療所にて研修を致しましたのでご報告させていただきます。

中村診療所では一般診療の前に上下部内視鏡検査、腹部エコー検査をされており、患者さんに負担をかけないようスムーズな手技を勉強させていただきました。一般診療では長年通院されているご高齢の方から比較のお若い方まで幅広く診療され、一次、二次予防に根ざした医療が行われていると感じました。センプククリニックでは西洋医学、東洋医学の療法を用いて診療されました。東洋医学を元にした触診、視診をもとに病態を把握しふさわしい漢方薬を処方されていて、診察室に入っただけに「先生、よく効いて楽になりました」とお話しされている患者さんが何人もいらっしゃいました。診察の合間には東洋医学の所見の取り方のこつや漢方薬の選び方について大変詳しく教えて頂きました。

大原クリニックでは泌尿器科疾患、皮膚疾患を中心に内科疾

患も含めて診療されており、患者さんの腎臓エコーもさせて頂きました。尿沈渣検査は普段は数値の結果しか見る機会がなく、実際の顕微鏡所見をどのように評価するかご指導頂けて貴重な経験となりました。また他院で処方された抗生剤を自己中断し多剤耐性が出現した尿路感染の患者さんがいらっしゃいました。改めて服薬指導の大切さを痛感しました。北区以外の診療所ではさがべ診療所、さかいクリニック、四ツ橋診療所で研修をさせて頂き、地域に密着した医療、商業施設内という他のクリニックとは異なる環境での診療、訪問診療や訪問看護といった患者さんの希望に添った医療のあり方などそれぞれの医療の形について多くを学ぶことができました。

新型コロナウイルス感染症の流行、今年からはワクチン接種開始とめまぐるしく情勢が変化する中、どの診療所も患者さんの不安に寄り添い健康、安全を第一に診療に当たられていて、診察後には患者さんが安心して笑顔で帰られるのが印象的でした。

最後になりましたが、新型コロナウイルス感染症の流行下にも関わらず快く研修を受け入れてくださった先生方、スタッフの皆様にはこの場をお借りして御礼を申し上げます。この経験を今後の臨床に役立てていきたいと思えます。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。